

高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

絆

平成31年2月発行

No.73

12月定例会



風まる

12月定例会	2
常任委員会報告	6
町政を問う(一般質問)	7
全員協議会	8
議会報告会及び意見交換会の結果	10
町民の声	11

上色見地区のどんどや

12月 定例会



第4回定例会は、12月10日から14日までの5日間の会期で開催され、承認2件、諮問1件、条例1件、予算4件、その他8件を審議し、原案のとおり可決しました。

▲ 定例会終了後議場にて

一般会計補正予算

1億5,713万2千円を追加

予算総額 51億2,719万円

補正予算の主なもの

環境保全型農業総合支援事業補助金

ホイルローダー購入

県補助を活用して、アグリセンターの経年劣化したホイルローダーを購入

事業費	県補助金	町負担*
10,206千円	4,725千円	5,481千円

* 県補助は、消費税抜き事業費×1/2のため、町負担は消費税込み

地域IoT実装事業

「タブレット端末の利用による新たな学びの創造」事業

児童生徒の学力向上やICTノウハウの蓄積のため、タブレットを活用した取組を実施

事業費	特別交付税	町の実質負担
20,000千円	10,000千円	10,000千円

* IoT (Internet of Things) とは？
モノのインターネット。身の回りのあらゆるものがネットにつながるという考え方。

公共土木施設の災害復旧工事

台風被害に伴う公共土木施設災害復旧工事（2箇所）を行う

(単位：千円)

節	事業費			財源	
	補助金	地方債	その他	一般財源	
工事請負費	40,020	19,900	0	80	
設計	0	1,900	0	66	
合計	40,020	21,800	0	146	

【被害状況】



味鳥・多々野線



栃原・ねずみ戸線

農地等の災害復旧工事

台風被害に伴う農地等災害復旧工事（5箇所）を実施

(単位：千円)

節	事業費			財源	
	補助金	地方債	その他	一般財源	
工事請負費	8,841	0	5,783	0	
設計	0	700	0	456	
合計	8,841	700	5,783	456	

・受益者負担は、県補助金の高上げにより減少する見込み。

【被害状況】



清栄山地区



表田地区



小笹地区



林地区



宮園地区

熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

後期高齢者医療広域連合議会議員については、各市町村から1名の選出とし議員定数が45名へと変更されたことに伴い、各市町村議会において選挙が必要となった。
選挙の結果、草村町長が当選。任期は平成31年4月29日

高森町人権擁護委員を推薦

人権擁護委員の岩下暢彦氏が平成31年3月31日をもって任期が満了するため、その後任として佐伯一美氏を推薦。
任期は平成31年4月1日から3年間

訴えの提起について

町営住宅の明け渡し並びに滞納家賃、及び訴訟費用の支払いを求める

入居者は、町営住宅条例43条の規定により家賃の支払い義務を有するが、平成23年から再三にわたる訪問督促にもかかわらず、家賃の支払い義務を履行せず多額の家賃を滞納し、居住の美態のないまま建物を放置しているため、顧問弁護士と協議した結果、町営住宅明け渡し等を法的手段により求めるもの。

高森町国民健康保険被保険者の第三者行為^(※)に起因する保険給付の債権返還請求の訴え

平成24年1月、山梨県甲州市の高速道路トンネル内での交通事故に伴う第三者行為の医療給付費及び運延損害金の支払い並びに訴訟費用の支払いを求めるもので、相手方は運転していた加害者並びに勤務する運送会社。

※第三者行為とは、他人の行為（過失）により病氣やけがをすること。事故の場合、加害者や責任の過失割合が直ぐに確定しないため、被害者の保険で治療し、後で費用を請求するもの。

財産処分

旧南阿蘇畜産農業協同組合の事務所及びせり場跡地の一部である大字高森字町園1604番地2及び1604番地3（面積1,933㎡）を土地払い下げのため財産処分。
相手方は岩下製材所。処分価格は7,509,744円



処分箇所

平成30年12月定例会 主な質疑応答

議案第55号

工事請負契約の変更に

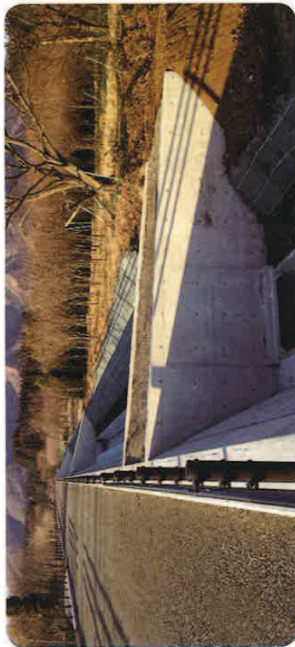
質 佐伯也也議員
工事の主な変更内容は。

答 建設課長
西原・前原線復旧復興防災道路整備工事1・2・4・5工区における、乗入れ箇所の増や、法面の実施数量の減によるもので、各工区増減額は、7,026,029円。

質 佐伯也也議員
測量設計の追加変更について説明を願う。

答 建設課長
追加設計変更については、できるだけ地権者の要望を予算内でこたえたく、乗入れの追加であるので当該の技術職員が設計している。

答 建設課審議員
測量設計の期間は、最低でも3ヶ月。設計額が1億円を超える場合は、一年以上必要である。



▲西原・前原線復旧復興防災道路整備

議案第53号 訴えの提起について

質 若口昌彰議員
住宅料については保証人が設定されているはずだが、その対応についてはどうなっているか。

答 建設課長
提訴にあたり担当弁護士と協議の結果、まず住宅明け渡し等を求めて本人を訴えることとした。

議案第61号 平成30年度高森町一般会計補正予算について

質 佐伯也也議員
①予算については、補助事業や地方債による交付税措置など、色々とやりくりをされているが、現時点で、地方交付税の額が決定していれば報告願う。

②「明るい街路灯補助金」について、それぞれの区において工事まで実施されているが、現状を説明願う。

③農林関係の予算について、南郷楯に係る補助事業が計上されているが、町内を見てもみると、全伐されているところをよく目にする。今後、植林の計画があるのか、また、植林等の補助があるのか説明願う。

答 総務課長
①今年度の普通交付税は、18億6,272万4千円ということで確定している。今後、交付税の算出の用いる国の地方財政計画の指標に合わせるための調整が行われ、調整率が復活すれば、約240万円増額することもある。

②本年度に限り3/4の補助を実施している。3戸以上の街路灯組合を設立し、駐在員を通じて申請。現在70組合50丁基を予定している。

答 農林政策課長
④「山村振興活性化交付金」を苗木の補助に充当している。植林については、森林組合を通じて申請していただければ、県の補助を受けられることができる。

普通教室のエアコン設置
エアコン設置の要望結果は



教育委員会事務局 12月4日に内定通知あり

平成30年5月21日付けで県教育庁から計画要
望調査があったが、その
時点での当時の事業計画
は届かなかった。
その後昨今の異常気象を踏
まえた安全対策が必要となり、
7月31日付けで計画の再確認
として再度依頼があり空調事
業の実施について国に要望した。
①設置費用は交付金
が3分の1で3分の2
は自治体負担となるが、高森は
小中学校3校で普通教室は何
教室あるのか。
②エアコン設置の決定通知
があったのか。
③自治体負担分の軽減措置は
どの程度か。
④設置後の諸費用対策は検討
されているのか。
①設置可能なのは普通
教室特別支援教室で、
中央小学校が15、高森
中学校が7、高森東谷園義務教
育学校が11の計33教室です。残
りの教室は、本年度以降の対応
となる。
②決定通知は県を經由して平
成30年12月4日付けで交付金
1550万円の内定通知を受
けている。

③国補助以外の地方負担分
については学校教育施設整備
事業債補正予算案にて措置
率が50%から60%に増やす
られている。
④諸費用対策についてはこれ
から施設を整備するため使用
開始後に具体的な費用を把
握したい。メーカ発表のゲー
ム等により検討しているがあ
くまでも目安であり、稼働後に
具体的な協議を行う。
①設置費用は、交付金
が3分の1で3分の2
は自治体負担となるが、高森は
小中学校3校で普通教室は何
教室あるのか。
②エアコン設置の決定通知
があったのか。
③自治体負担分の軽減措置は
どの程度か。
④設置後の諸費用対策は検討
されているのか。
①設置可能なのは普通
教室特別支援教室で、
中央小学校が15、高森
中学校が7、高森東谷園義務教
育学校が11の計33教室です。残
りの教室は、本年度以降の対応
となる。
②決定通知は県を經由して平
成30年12月4日付けで交付金
1550万円の内定通知を受
けている。

南阿蘇鉄道の現在の状況
利用状況と義援金は
町長 本年度見込み約2,800万円

○本年度事業の進捗率は。
執行部から提示さ
れている事業で、ソフト
を除いた他の主要事業の
進捗率は何パーセントか。
土木に関しては、
発注した分75%、
新設改善4%、住宅、水道
は100%、全体で97%
となっている。
維持工事はそれな
りに進んでいるが、
新設工事が思うように進
んでいない。4月から8
ヶ月経っているが工事に
かかれないというのは住
民から不安に思われる。
事業が遅れている
のは、用地交渉の
難航、7月の豪雨災害の
発生などが原因。
南阿蘇鉄道の利用
状況と義援金につ
いてお聞きしたい。
震災前（平成27年
度）総輸送人員が

25万7千人、震災後（平成
28年度）が約3万6千人、
（平成29年度）が約
4万5千人で今年度は、
9月末までの上期で約
3万2千人の利用があっ
ている。徐々に利用者は
伸びており、収入に関し
ては、本年度約2、
800万円程度を見込ん
でいる。南阿蘇鉄道に寄
せられた義援金総額は、
527万1、331円、支
出総額が3、984万9、
114円で義援金残高は
1、542万2、217円
となっている。



常任委員会報告

総務

委員会に付託された「高森町一般計
補正予算」についての県庁から詳細に説
明を受け、審議した結果、可決することに
決定した。
【主な質問事項】
【質問】仮場内多目的体育施設工事について
は、9月の築3回補正予算で仮場内を
総合センターの渡り廊下外に設置するこ
とに決まっていますが、場所を変更する
のか。
【答】11月9日付け県庁省通知「屋外分
施設」の技術的留意事項」の要件を満たす
施設とするための補正であり、場所の変
更はない。
【質問】エアコンの設置はあるのか。
【答】設置はない。
【質問】旧野原中学校のエアコン導入路
線関係予算が計上されているが、エアコン
は現在エアコンドクトル工場の緊急時の
へりポート屋敷として利用されているが
現状と改善方法について伺う。
【答】現在地元の方にエアコンドクトルを
道沿いに約1メートルほど埋め込んでいた
りしている。しかし、時には草が伸びると
支障をきたすこともある。又、現地
を確認したところ、枯木や枝が張り出
してたり、草が伸び放題になっている
ところがある。
今後、管理を委託する前に先ずは根本
的に整備する必要があり、補正予算を計
上した。

文教厚生

委員会に付託された「高森町
一般計補正予算」「高森町国
民健康医療特別会計補正予算」
「高森町介護保険特別会計補正予
算」について、県庁から詳細
に説明を受け、審議した結果、可
決することに決定した。
【主な質問事項】
①高森町一般計補正予算関係
【質問】タブレット購入について、各
家庭にインターネット環境が無
ければタブレットは使えないの
ではないか。タブレットの価格は
妥当か。
【答】インターネットが繋がらな
い状態ではタブレットで学習は
できず、タブレットに学習の経
緯や成果を積み重ね学習してい
くことで、学習の振り返りや習熟
度を確認し、深い学びが実現する。
価格については、タブレットに
教育用ソフト等を設定した状態
で導入するため、以前購入した際
より高額になっている。
【質問】タブレット購入について、総
務省の地域IoT実証推進事業
が県内で1自治体のみとされて
いるが、根拠は。
【答】全国で10地域採択され、県内
で1自治体。

建設経済

委員会に付託された「高森町一般計補正予算」につ
いては、県庁から詳細な説明を受け、審議した結果、可決するこ
とに決定した。更に、先の県庁例案最終日に提出された「請
願第一号 町道大村線改修及び町道大村・前原線」道路改良整
備について、議会の議案審査したところ、10月10日、
紹介議員の出席を求め、現地調査を行い、共に審議した結果、
請願は採択する事とした。但し、請願のあった様な道路状況は
町内各地で見られることから、早急に改良整備が必要な路線
や優先する路線の選定を行い、計画的な道路改良工事を行う
様に要望した。
【主な質問事項】
①高森町一般計補正予算について
【質問】共同道路の払い下げ計画はあるのか。
【答】建設から数十年経過しており、近隣町村でも払い下げを行
っている事から、事情を充分考慮し払い下げ協議を行う。
【質問】幼保連携支援事業の実施は否か。
【答】赤牛とじふのみすきを、地域のシエロに調理を依頼し
生徒に提供する。
【質問】西原・前原線道路改良防犯道路整備工事について根拠産課手
数料と電柱移設工事補償費は、工事変更契約に伴うものか。
【答】変更契約とは別であり、根拠産課は数量把握が難しく補正
での対応とした。
②請願第一号 町道大村線改修及び町道大村・前原線道路
改良整備について
【質問】請願路線の現地確認を行ったが、請願のあった様な道路状
況は町内各地で見られることから、早急に改良整備が必要な
路線や優先する路線の選定を行い、計画的な道路改良工事を行
うことは。
【答】道路予算の徹し中、早急に改良整備が必要な路線や優先
する路線の選定を行い、計画的な道路改良工事を行う。

文教厚生常任委員会視察研修報告

文教厚生常任委員長 立山 広滋

【期 日】
平成30年11月15日、16日

【場 所】
1日目
熊本県和水町(健康福祉課)

2日目
長崎県東彼杵町(健康けん課)
【視察研修概要】

和水町は、健康推進員を69行政区に136名を配置し、特定保健診の受診率の向上と特定保健指導に力を入れている。人間ドックの助成についても町立病院で受診する場合は最高56,000円の助成を行い、毎年100人から120人程度が受診されている。このように住民の健康管理を行うことにより、第7期の介護保険料の標準月額についても5,800円と第6期と同額である。また、一般介護予防事業として、「お茶の間節トシ教室」と称して56地区で開催するなど、介護予防事業の参加者も766人と高齢者人口の約19%が参加されている。

東彼杵町の介護保険認定者数・率は平成23年度から平成27年度にかけて減少、平成27年度以降は横ばいである。介護給付費についても平成25年度から平成29年度にかけて約8,

300万円減少している。介護予防(総合事業)に力を入れており、地域包括支援センターが主体となり介護予防教室を実施、また、社会福祉協議会とも連携しサロン事業等を実施している。

健康づくり推進員による住民健診の訪問勧誘を行い、健診受診者全員に保健師と栄養士が個別に結果説明を行っており、初回面接はほぼ100%である。総合会館内には、社会福祉協議会や子育て支援センターが集約されており、そこで集団検診、タイサートビス、介護予防教室、スポーツジム等が行われている。

本町においても益々高齢化が進むことから、今回研修したことを政策として活かして行きたい。



12月13日 全員協議会

保育料の無償化前倒し

12月13日の全員協議会で、保育料の無償化施策について執行部より説明があった。

国では、平成31年10月の消費増税対策の一環として、3歳から5歳児の保育料を無償化するとしている。

町では、今回の国の方針を受け、町独自の施策として平成31年4月から3〜5歳児の保育料無償化を前倒して実施し、給食費・送迎費等は、国の制度に併せ実費での徴収を予定しているとのこと。

本事業の実施により、保護者の負担軽減は甚より、求人が多い年度当初からの保育料無償化による保護者世帯の雇用促進、また年度途中での全国的な制度改正による保護者の混乱・不利が生じるのを避けるなど、安心した子育て整備の推進に繋げることが狙い。

本事業については、通常の新規事業とは異なり、予算書に明記されるものではなく、また、無償化に伴い入園希望者の追加募集を平成31年2月に実施する必要があり全員協議会での説明となった。

議会広報特別委員会研修報告

議会広報特別委員長

興梠 壽一

研修日 平成30年11月13日
研修会場 グランメッセ熊本
研修内容 新時代の議会広報くチャレンジ

本誌において、議会報告会の結果を掲載しておりますが(内容割愛)、報告会と同時に広報誌の内容等についてご意見を頂きました。御礼申し上げます。

現在では、定例会等々議会に関する活動内容をポイントチャネルで、中には生放送されるようになり、身近に耳になられるかと思えます。反面広報誌の役割、必要性等について真価が問われるようになり誌面の内容等のさらなる充実が急務となりました。

そこで、委員会では、「今、時の時!!」と題しての研修会に参加しました。「伝える」と「伝える」とは別、「自分には分かるが他人には分かる」誰のため、何のため「広報誌作り」の原点について研修を受けました。下しこでは聞き逃すこともあ



るかと思います。活字において、議員一人一人の考え、また活動を正確に伝えることにより、議会に対して町民皆さんの関心を高めることが、地方議員のなり手不足の解消や活性化にもつながるかと思えます。如何せん我々議員は広報誌作りについては、全くの素人ですが、意見交換会で頂いた意見や今後も研修会等受講しながら必要とされる誌面に取り組みたいと考えております。

地方創生特別委員会報告

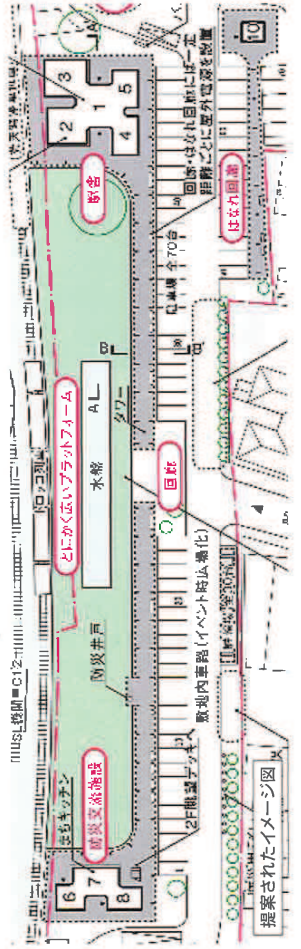
地方創生特別委員長
森田 勝

南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発グラントデザインに係る策定業務を委託した事業者からの説明を受けた。ごじかく広いプラットフォームが高森の玄関口であるコンセプトに係るデザインの中間報告が示された。

委員から、次の質問があった。

- 1 安全運転管理ができるか。
 - 2 南鉄の意向を反映した設計か。
 - 3 予算の範囲内でできるのか。
- 設計者からは、全ての件について、細心の配慮を行い設計しているが、予算については、全体の要望を精査し、報告する予定との回答があった。

今後の行程については、3月を目途にまとめ、最終報告会と議会への成果報告が行われる予定。



町民の声



橋本 公紀さん
(高森・旭通)

私は、高森中学校北側で理容業を営んでいる者です。この場所には、生まれ育った草部北部の高尾野から移り住み43年余りが経ちました。今なお理容業が出来ているのは、多くのお客様や地域の方々の支えがあってのことと感謝しております。

そんな中、思うことがあります。それは、私の家の前の道路のことです。移り住んだ43年前は、周りに殆ど住宅もなく、家の前の道路も狭さを感じておりましたが、その後、家の北側300m先に国道325号バイパスが開通し、住宅や商業施設の建設が進むに連れ、道路の往来が激しくなり、車の離合も出来ない状況の時も度々目にします。また、子どもの手を引き歩かれる方や乳母車で通られる方もたくさんおられます。そんな状況の中、2度ほど我が家が車が飛び込む事故が発生し、仕事をしていた私はビックリしたものです。幸い怪我をされた方はおられませんでした。もし、理由にお出で頂いたお客様や通行されている人が怪我でもされたらなと思うと心配でなりません。そんなことから、私は必ずお客様を安全に送り出し店へ帰ることにしています。

何年か経ち、事故を起こされた方と久しぶりにお会いしたとき、その方が現在は無免許を返納されたこと聞き何故か心が痛みました。今、私が思うことは、住民の人達が安心して通れる幅員のある道路、車いすや乳母車。そして、住民みんなが安心して通れる歩道のある道路の設置を希望します。そのために必要であれば、用地協力もさせていただきます。



波戸内 博之さん
(上色見・中原)

一人のつばやき

私の頭の中に3つの素晴らしい山の景色が残っています。1つは北海道の旧国鉄根室本線の車窓から見た狩勝峠の雄大な大高原です。次は中央道を走っている車から見た南アルプスの雪を頂いた高峻な山の繋がり、そしてもう1つは今私が住んでいる南郷谷から見た阿蘇の山です。空気も水も素晴らしい観光資源豊かな処です。

しかし高森町は私が住み始めた10数年前から徐々に人口が減ってきています。やはり素晴らしい景色・おいしい空気と水は生活の要素がもたせませんが、安定した働き場所と次世代を担う子どもたちの教育の場が少なくなってきたのでしょうか。

私の家から南郷谷が見渡せ、南外輪とお羅門山の真ん中に俄山があり、そこに夕日が落ちます。その夕日を見ながらここ高森町の人口が増えるにはどうしたらいいのかと一人つぶやいています。年寄だけが帰るのではなく、若い人たちが住める町にするには仕事場が必要です。阿蘇五岳を背景に公園・宿泊施設、温泉加えてゴルフ場等大資本のものも一体化で一層の雇用の場があるのかとつかづつやっています。

南阿蘇鉄道の復旧に合わせ、JR豊肥線との相互乗り入れで熊本市が通勤通学の圏内に入ります(大都市では一時間半の通勤・通学は普通です)。そうすると生活の条件が良い高森に住もうと言う人も出てくるのかなと。またJR豊肥線から熊本空港への接続計画も昇ってきました。高森から空港へ直結です。

町の将来道路ネットワーク計画にもありますように、東西路線は整いつつありますが南北路線の改良が進めば、医療設備等も含め阿蘇谷とも仕事の共有が膨らみます。物流が盛んになれば、熊本だけでなく大分・宮崎と一層交流が深まるでしょう。

そうすれば、大気・水質汚染の無い無公害企業(特にアパレル関係企業等)の進出が望めます。いろいろな一人てつぶやいています。やっとな一言ええる日が近く訪れそうです。

平成30年度 第2回 議会報告会及び意見交換会の結果



平成30年11月28日、JA高森支所において、JA青年部・女性部との意見交換会での質疑は次のとおりです。

1. **アグリセンターは施設を増設されましたが、それに見合う進捗の売上はあっていますか。**
答：技術職員も増員し態勢は整いましたので、期待しています。

また、堆肥の専門的指導が必要とされています。一語の課題は、雇用の確保だと思えますが、如何お考えか。
答：外国人労働者の雇用を含め、農家経営の手助け方法を共に考えたい。

2. **産売所・道の駅構想についてお尋ねします。方向性を考えて、体験型と取入れたりか出来ませんか。**
答：周年野菜があるか？冬場に何を販売するか？が問題です。まだ協議会は立ち上げられていませんが、充分検討が必要と見えます。

3. **TPCについて、どうなりますか。時間帯を考えると頂きたい。**
答：料金徴収については検討中ですが、料金に見合う内容に替えたい。

4. **地方バス運行助成金がありますが、高校生の通勤に利用できませんか。**
答：町民バスの運行時間を考慮出来ないか検討します。

5. **生ゴミのコンポストの購入制限がありますか。**
答：上限5千円で、20基分の予算があります。

6. **高齢者が自分のスタイルで生活できる範囲で、生き甲斐を養えるように生りたいと思っておりますが、議会は如何お考えですか。**
答：高齢者が出来る範囲で、活躍していただける場所は無いかと思っております。年寄り扱いせず、一人ひとりにあった働き方も大事です。

7. **表紙にインパクトが欲しい。**
答：レイアウトも工夫して読みやすく、町民の声は読みます。

8. **TPCがあるの、必要があるのかと思えます。**
答：専門用語が分からずに、飛ばしてしまいます。(文字が多すぎます。)

9. **議会側から議会広報「絆」について、御意見を伺いました。**
答：表紙にインパクトが欲しい。
答：レイアウトも工夫して読みやすく、町民の声は読みます。
答：TPCがあるの、必要があるのかと思えます。
答：専門用語が分からずに、飛ばしてしまいます。(文字が多すぎます。)



平成30年11月29日、高森町PTA連絡協議会との意見交換会での質疑は次のとおりです。

1. **東学園の浪り屋下の屋根が飛んだですが、後の対応が不十分です。**
答：子ども連の安全を考え、来年度対応するよう協議しています。

2. **図書館建設について、切望しています。(子どもから老人までのコミュニケーションの場所が必要)**
答：必要性について認識はしていますが、多機能型の場合施設があればとは悪いですが、財政的に現状では厳しい。

また、南阿蘇村と一緒に出来ないかも検討しましたが、学校の空き施設が多くて無理だと言われた。

3. **つながらざるひかり委員会での意見のまとめ方について。**
答：まだお答えできませんが、町長が答申を受けからとなりです。

4. **高森高校から入学科、教科書代について町の補助や、県からICT環境整備をいただいて、教育環境が整い感謝しています。また、図書館の開放も行っていきます。**
答：保育園から高校の生徒さんから紙芝居や絵本の読み聞かせをしていただき、散歩の時も挨拶して地域ぐるみで養護と教育が一体的に出来ている。また、小学校と就学前に触れ合える場を大事にしたい。



議会側から議会広報「絆」について、御意見を伺いました。

答：とても分かりやすく、見やすい。
答：広報を各機関・団体・学校へ送ってもらえないか。
答：高校生会議の開催が出来ないか。
答：地域の課題を考えたい。(高森町・南阿蘇村)

第70回 全国人権・同和教育研究大会に参加して

副議長 佐伯 金也

平成30年11月17日、18日滋賀県大津市で第70回全国人権同和教育研究大会が開催されました。高森町から行政、教育、支部の各関係者11名が参加しました。

今大会のテーマは「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」です。全国各地から数千人の参加者が集い全体会、分科会と開催されました。

滋賀県の若者から特別報告があり、久しぶりに参加した全国大会が若返り世代交代が進んでいることに關心しました。地域で青年団活動として人権や差別について啓発活動を行い、同年代の若者や少年、児童達に若い言葉で理解を求めて活動する。しかし教育活動の中では積極的に対応出来ても遊びの中での差別には思う様に対応出来ない悩みなど社会での「触りたくない」と言う弱い心、恥ずべき習慣の深い溝について感じました。

無意識に冗談半分で発する差別話や誹謗中傷の場に居合わせた時に自分はそれに加わるのか、それともその言葉や行動にしっかりと反論ができるのか、考えさせられました。立ち向かうために自分が出来る事は何なのか。立ち向かうための強い心を身に付けるにはどうするべきか。毎回、考えさせられる研修でした。



▲全体会が開催された滋賀県立体育館

編集後記

平成最後の新年を迎え、新しい年号はどんな言葉になるのか楽しみです。

議員の任期も残すところ4ヶ月余りになり広報委員最後の仕事になりましたが、毎回表紙写真の構図を考えて、被写体を探すのに苦労しました。

新しい議員の方たちの広報委員会になり、より良い広報誌を作成されることを期待しています。

牛嶋津世志

議会広報特別委員会

議長 田上 更生
 委員長 興梠 壽一 委員 芹口 誓彰
 副委員長 牛嶋津世志 // 後藤 三治

